



現場から（最近のニュースから）

## 良いリーダーがいたら



ウクライナの戦争が長引き、イスラエルとパレスチナの戦いは大きくなっています。それだけではなく、世界ではどこかでいつも民族間の争いが起こっていますし、世界を見なくても、身近なところでの人間関係の争いや葛藤は、どの時代にもあり、絶えることはありません。そのような争いをどうしたら止め

られるのかと、いろいろな学者が研究しています。ノーベル経済学賞を受賞した心理学者ダニエル・カーネマンは、著書『ファスト&スロー あなたの意思はどのように決まるか?』で、思考には「システム1」と「システム2」の二つがあり、その二つのシステムの限界と強みを理解することによって、対処ができると言っているそうです。それに関する記事がありました。

悪いリーダーは反応し、良いリーダーは計画を立て、偉大なリーダーは考えるのに、今、世界は反応するばかりで、考えることをほとんどしていないから、戦争が起こるのだと、記事では言われています。思考には2つのシステムがあるのですが、システム1は「自動的で直感的だ。意識的な努力をほとんど、あるいは全くすることなく、素早く展開する。経験則に基づいており、メンタルショートカット（精神的な近道）に頼って迅速な意思決定を行う。これは効率的な場合もあるが、しばしば先入観や判断ミスにつながる。また感情的でもあり、システム1の思考に依存している意思決定者は、気持ちや本能的な反応に左右されやすい。」ということです。システム2（遅い思考）は「熟慮と努力を必要とする。より複雑な精神活動に注意を向けるもので、それには意識的な努力が求められる。その結果、情報をより批判的に分析し、過去の経験をより客観的に振り返ることができる。より論理的で、問題を段階に分けて検討する傾向がある。」ということです。このシステム2が欠けていることで、戦争や紛争が起こるといえるのです。より知的な厳密さと、より思慮深いアプローチによって、戦争は終結し、平和が訪れ、混乱に対しても、良い対処ができるということです。二つの限界と強みを理解することによって、より良い意思決定ができると記事は結んであります。（10月17日 ForbesJapan<世界が陥る「反応的思考」 ノーベル賞心理学者から学ぶべきこと>より）

考える良いリーダーがいるなら、戦争は起こらないのでしょうか。その原理なら、より良い思考をするなら、家族や親せき、会社での人間関係の問題が消えるということになります。本当にそうでしょうか。それぞれの人が、自分なりに考え、工夫をしているのに、自分の思うとおりにいかず、苦しみつつがんばるのですが、どうしようもない場合が多いのではないのでしょうか。遠い戦争も、私たちの身近な葛藤や問題も、まったく同じ原理で起こっています。それは人間が理解しようと努力しても、知的な厳密さや思慮深さを持って考えても、たとえどんなに偉大なリーダーが出て来たとしても、どうしようもないことなのです。いつの時代にもある人間ではどうしようもない世の流れ、そして、戦争が起こるしかない原理があります。それについて、そして、その解決について、いっしょに見てみませんか。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみ的人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください